

偏差値40から早稲田大学法学部に合格するための国語社会基礎

勉強法

こんにちは、レポート作成者の有限会社CCT代表の岡田理史（マサシ）と申します。

今回は当レポートをダウンロードして頂きましてありがとうございました。
このレポートは偏差値40からでも早大法学部をはじめとする難関私大に合格するための具体的な勉強方法を書いた無料レポートです。

ぜひご覧下さい

私が早大法学部に合格したのは97年ですが、常に最新の情報を仕入れているので情報が古くなる心配はありません^^

現代文勉強法（基礎編）

早大の現代文は超難しいのは、早大受験生の方なら誰でもご存知かと思います。早大の現代文は毎年非常に難易度の高い文章が出題されて、各予備校の解答速報が毎年食い違うほどです。

この難しい現代文にどう立ち向かうか、どう克服するかによって大きく結果も変わってきます。

何事も基礎からしっかり始めることが重要です。

現代文は勉強しても伸びない、現代文は特に勉強しなくても何とかなる。こう考えている人がいたとしたらそれは大きな間違いです。

実は現代文ほど短期間で得点源にできる科目はないと私は考えています。それでは、現代文の基礎対策を書いていきます。

まずは、語句を知らないと話になりません。

皆さん、英単語の重要性はよくご存知だと思いますが、現代文の語句の重要性に気がついている人はほとんどいないのではないのでしょうか？

日本語なので、なんとなくわかるのですが、入試現代文では曖昧な理解だといつまでたっても現代文が解けるようになりませんよ！

英語と同じように、語句の意味を理解して暗記することが現代文でも重要なのです。

使用する本は

現代文試験に出る読解ワード 300（KK ロングセラーズ）が最適です。

私も受験生の時、この本をやることでかなり現代文が得意になりました。

繰り返して読み込んで暗記すれば、語彙力がつきますし、漢字対策にもなるので正に一石二鳥です。

語彙力をつけたら、いよいよ本格的な問題演習です。
現代文の場合は、ただ闇雲に問題演習を繰り返してもほとんど効果はありません。

本当にいい参考書を使わないと、全く成績が伸びません。
そこで参考書選びがとても重要になりますが、私がいい参考書を厳選して紹介しますので、安心してください。

あまりにも有名ですが、出口シリーズを使って徹底的に論理をマスターするのが一番です。
まずは高1からの出口現代文講義の実況中継（語学春秋社）で基礎をマスター

その後、出口のシステム現代文（バイブル編、センター対策編）をやります。
この3冊を使って徹底的に現代文＝論理ということを頭に叩き込みます。

この3冊は何度も何度も繰り返して、現代文の解き方を徹底的にマスターしてください。

現代文ほど簡単かつ確実に点数が取れる科目はないことが実感できると思います。
センター試験を受ける方は満点を狙わなくてははいけません。

実際私はセンター現代文は満点でした。

古文・漢文勉強法（基礎編）

私が受験生時代、最も嫌だった科目が古文・漢文でした。漢文は完全に捨て、古文もほとんど勉強しませんでした。

まあそれでも合格したのは、他の科目でカバーする絶対的な自信があったからですが、できるなら古文漢文も出来たほうがいいのは言うまでもありません。

幸い、今は当時に比べていい参考書がたくさん出ているので、それらを使って基礎を固めていきましょう。

まずは古文から

古文も英語と同じように、「語学」の勉強と考えましょう。となると、やはり重要なのは単語と文法、それに古文の場合は古文常識も必要になります。

それでは具体的な勉強方法を詳述していきます。

まずは、最重要な古文単語です。

まずは、有名な「マドンナ古文単語230」で基礎単語を覚えましょう。難関私大だとこれだけでは足りませんが、まずは基礎固めが重要です。

そして、文法も重要です。

今はとてもいい参考書があります。

東進ブックスの「富井の古典文法をはじめからていねいに」です。

本当に基礎からわかりやすく説明されていて、付属のCDも絶品です。

私が受験生の時はこの本はありませんでした。これがあつたらもっと古文も得意になっていたに違いないと思いますね～

この本は徹底的にやりこむ必要があります。本当にわかりやすく書かれているので、苦にならないはずです。

そして、同じ著者の「富井の古文読解をはじめからていねいに」

この本も秀逸です。文法の基礎を叩き込んだらこの本を集中的にやりましょう。

この本は古典常識も解説されているので、一石二鳥以上の効果がありますよ！
先述した復習法で何度も何度も繰り返して、完全に理解しましょう。

次に漢文です。

漢文が出ない大学を志望される方は、特に必要ありません。例え出題されるとしても、ほんの少ししか出ないのであれば特に必要ないと思います。

早大法では小問として漢文が出ていますが、特にやらなくても大勢に影響はないと思います。私は漢文を1分もやっていませんでしたが、合格しましたし。

それでも、不安があるという方、時間的余裕がある方、センター試験で高得点を取る必要がある方はしっかりやるべきでしょう。

漢文の勉強法は簡単です。

早覚え速答法（学研）＋過去問

これだけで十分です。これに書かれてないことが出たら諦めましょう（笑）
はっきりいって漢文にかける時間はほとんどありません。そんな時間があったら英語や社会に時間をかけるべきです。

漢文の配点が高い大学というのはほとんどありません（文学部除く）配点が高いものに時間をかけるより、配点が高い英語にかけるのは戦略上当然ですよね

次は日本史対策です

社会はもう完全に暗記科目です。苦手なんて概念は存在しません。苦手という人は何もやってないだけです。

やればやるほど伸びるものだから、やらない手はないでしょう。

やらない人に合格通知は来ません。しっかりやりましょう

日本史・世界史対策（基礎編）

分量の多い歴史科目の対処法に頭を悩ませている方も多いと思います。しかし、歴史科目は単純な暗記であり、今の成績など全く関係ありません。やる気があればすぐにでもセンター試験レベルなら満点がとれるし、とらなければならないのです！

ただ、効率的な勉強方をしないと暗記が苦痛になってくるので、その方法をお伝えしたいと思います。

まず、世界史ですが、私は受験でも日本史選択でしたので、細かい対処法は詳しくありません。しかし、いい方法を教えてくれるところがあるので紹介したいと思います。

<http://tinyurl.com/bf374>

ここの無料レポートというところに、60日でセンター世界史で満点を取る方法というのが記載されています。私も内容を確認しましたが、理にかなった方法なので、ぜひ参照してみたいかがでしょうか？

（余談ですが、このレポートの内容もなかなか面白いものです）

日本史についても、同じようなやり方があてはまります。つまり、教科書（山川出版社のものが望ましい）、図表（学校で使っているものでいいでしょう）、一問一答問題集（山川のものより東進ブックスの方が絶対にお勧め）

史料問題対策に 東進ブックスの『日本史のそのまま出る史料一問一答』この4冊をしっかりとやればセンター満点は十分狙えるでしょう。一問一答は重要度がレベル別に示されているので、センターレベルまでやればいいでしょう。

東大合格～のレポートでは一日5ページとありますが、できれば10ページ以上毎日進めたいところです。

この方法は3科目に絞っているため、そのくらいやる時間は十分にあるはずですよ。

ここでも、前述した復習法で徹底的に覚えまくります。

これをするとしないとでは本当に記憶の定着に大きな差がでます。最初は苦しいかもしれませんが、段々慣れてくると逆に快感になります（笑

何事も辛いのは最初です。その最初の辛い時期を乗り切れば受験はほぼクリアしたも同然です！

頑張ってください

・覚えにくい文化史対策法

文化史は教科書だとなかなか覚えにくいと思います。私もそうでした。歴史科目の基礎は山川出版の教科書なのですが、文化史だけは別の参考書を使ったほうが効率があがります。これは日本史世界史とも共通です。

使用する参考書は

日本史は語学春秋社の石川日本史 B 講義の実況中継 文化史

世界史は同じく語学春秋社の青木世界史 B 講義の実況中継 文化史

です。

教科書で覚えるより覚えやすく編集されていますので、ぜひとも文化史はこの2冊を利用して完全にマスターしてしまいましょう

日本史も世界史も基礎対策としてはこれで十分すぎるほどです。実際、一部の難関私大以外ならこれだけでも十分すぎるほどです。

教科書 + 一問一答集 + 文化史実況中継 これをやるだけでも相当な力がつきますよ。

前述した復習法で徹底的に覚えこみましょう。

教科書は隅々まで目を配って暗記する必要があります。重要度が低いと思われるような欄外などから出題されるケースが早慶レベルだと実はかなり多いです。

教科書の細かいところにも目を配って、丁寧に読み込んで暗記をしていきましょう

次は政経対策です

政経対策（基礎編）

入試まで時間がない、日本史や世界史は暗記量が多すぎて嫌だ...という方は政経を選択する方法もあります。

政経は日本史や世界史の半分以下の暗記量で済むので、あまり暗記が好きでない人にもお勧めです。それでも早大レベルだと暗記することは多いですけどね！

ただし、政経選択のリスクもきちんと認識しておかないといけません。それは、併願の幅が狭くなるということです。

有名どころでは、慶応や上智は政経では受験できません。

ただ、早大は政経受験OKなので、早大第一という方は安心して政経に取り組めるのではないのでしょうか？

それでは政経対策法を詳しく書いていきますね

政経で使用する参考書一覧をまず挙げていきます。

政経ハンドブック（東進ブックス）→全て暗記することが必要

政経問題集（東進ブックス）

受かる政治経済・現代社会用語シルクロード546（学研）

清水の新 経済攻略 経済理論と時事 改訂版（東進ブックス）

過去問

解決！センター政治・経済（Z会出版）

は政経受験者のバイブルとも言うべき存在。一日4～5課ずつ丁寧に読んで、きちんと暗記していきましょう。もちろん前述した復習法で何度も何度暗記するのは他の科目と同じです。

も同じく政経受験者のバイブル。何度も繰り返して完璧にすべき

は直前期のチェック用に使うといいでしょう

これは経済分野が苦手な方にお勧めです。時事対策も載っているので重宝すること間違いなしです。

過去問が重要なのはどの科目も一緒です。特に早大は他学部で出た問題が出ることも多いので、全学部の過去問をしっかりとっておきましょう

はセンター対策用のZ会本。政治、経済、社会の各分野の頻出分野を網羅していて、質の高い問題が揃っています。センターの選択肢の正誤を見抜く方法も詳しく書かれているので、センターはもちろん私大対策にもなります。また、オリジナル問題も収録されているのでこれも役に立つでしょう。

いかがでしたか？

応用編はこちらのメルマガで今後発信していく予定です。

こちらの無料レポートをダウンロードされた方は自動的にこちらのメルマガに登録されますのでぜひご覧下さい。

底辺からの早大法学部合格術

<https://regssl.combzmail.jp/web/?t=df20&m=73rw>

もちろん解除はいつでも可能です ^^ ；

でもためになる情報を発信するのでぜひ購読を続けてくださいね ^^